

まつしま

議会だより

第145号

令和3年2月1日発行
宮城県松島町議会



粉砂糖をふりかけたような雰囲気の島々（西行戻しの松公園から撮影）

- ◇ 議案審議……………P 4
- ◇ 令和2年度補正予算……………P 5
- ◇ 臨時会……………P 6
- ◇ 6人の議員が熱弁（一般質問）……………P 9
- ◇ 町民の声……………P 16

令和2年
第4回 定例会

[12月3日～12月7日]

令和3年 新年のごあいさつ



阿部 幸夫 議長

昨年は、新型コロナウイルスの見えない脅威に対抗するため、毎朝の検温、消毒とマスクを着用した後人と接する事が許されませんでした。このため、飛沫感染を防ぎ感染が拡大しないよう、毎年開催してまいりました議会報告会を延期させていただきました。

期待していただきました方々には、大変申し訳ありませんが暖かい時期に変更して実施いたしますので今しばらくお待ちください。

町議会としては、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を立ち上げ感染予防対策と安心した経済活動を行える環境の整備などを提言書にまとめて町へ提出しました。また、財政事情を考慮して町の負担を軽減するために議員の政務活動費の2分の1を減額したほか、各常任委員会等の視察研修を取りやめました。今後も町民の方々の生活に不安がないよう感染対策と救済措置の継続に注視してまいります。

今年も、町議会議員の改選の年です。議会は、住民の総意を反映させる重要な役割を担っております。時勢を的確にとらえ新たな視点で松島町の歴史に学び、先人が幾多の苦難の中から築きあげた地域の力を発揮して、活気ある元気な松島町を次世代に継承することが、議会に課せられた使命と感じます。少子高齢化による人口の構造変化と減少、常態化する異常気象に対する防災のあり方など厳しい課題を乗り越え、心の豊かさや日々の生活に喜びを実感できる町づくりを進めていくため、皆さまと協働しながら自治力を更に高めなければならぬと考えます。議会が、その機能を十分に発揮して自主性を高めるため、与えられた権限を最大限に行使し、提案力の向上に努めてまいります。

皆さまの御活躍と御多幸を心から御祈念申し上げます。

松島町議会議長 阿部 幸夫



令和2年 第4回議会定例会審議の様子

令和2年 第4回 定例会 (12月3日) 提出議案

(条例3件、補正予算5件、その他6件)

議案第105号 松島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴うもの

議案第106号 松島町国民健康保険税条例の一部改正について

地方税法施行令等の一部を改正する政令に伴うもの

議案第107号 松島町後期高齢者医療に関する条例及び松島町介護保険条例の一部改正について

地方税法等の一部を改正する法律に伴うもの

議案第108号 字の区域を新たに画することについて

県営手樽地区土地改良事業(区画整理事業)により従来の区画変更に伴い区域を新たに設定するもの

議案第109号 町道の路線認定について

新たに町道の1路線を認定するもの

議案第110号 町道の路線変更について

町道の起終点を変更するもの

議案第111号 指定管理者の指定について

施設の名称 松島運動公園(管理事務所、多目的運動広場、野球場、テニスコート等施設)

指定団体 特定非営利活動法人マリソル松島スポーツクラブ

指定期間 令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

議案第112号 指定管理者の指定について

施設の名称 松島運動公園(温水プール施設)

指定団体 セントラルスポーツ(株)

指定期間 令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

議案第113号 工事委託に関する変更協定の締結について

協定名 西柳雨水ポンプ場の復興事業に係る建設工事委託に関する協定

協定金額 原協定額 1,106,000,000円

変更協定額 1,056,000,000円

協定の相手 日本下水道事業団

議案第114号 令和2年度松島町一般会計補正予算(第8号)

職員人件費等の見込み及び各事業の所要額を補正

議案第115号 令和2年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

個人所得課税見直しによるシステム改修費等の補正

議案第116号 令和2年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

保険料減免等に伴う補正

議案第117号 令和2年度松島町介護保険特別会計補正予算(第4号)

保険給付費等の増額に伴う補正

議案第118号 令和2年度松島町水道事業会計補正予算(第5号)

職員人件費等の見込み額を補正

令和2年 第4回 臨時会 (11月13日) 提出議案

(補正予算1件、その他1件)

議案第95号 物品売買契約の締結について

事業名 町立学校大型提示装置等購入

契約金額 8,426,000円

契約相手 (株)高山

議案第96号 令和2年度松島町一般会計補正予算(第6号)

新型コロナウイルス感染症対策等についての補正

令和2年 第5回 臨時会 (11月30日) 提出議案

(条例3件、補正予算6件)

議員提案第7号 松島町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

松島町議会議員の期末手当の支給月数を引き下げたもの

議案第97号 松島町長等の給与に関する条例の一部改正について

松島町長等の期末手当の支給月数を引き下げたもの

議案第98号 職員の給与に関する条例の一部改正について

松島町の職員の期末手当の支給月数を引き下げたもの

議案第99号 令和2年度松島町一般会計補正予算(第7号)

職員等の期末手当に関する条例改正に伴い職員人件費等を補正するもの(議案第100号以下、内容は同じ)

議案第100号 令和2年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

議案第101号 令和2年度松島町介護保険特別会計補正予算(第3号)

議案第102号 令和2年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第3号)

議案第103号 令和2年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第3号)

議案第104号 令和2年度松島町水道事業会計補正予算(第4号)

審議案

松島運動公園

管理事務所・多目的運動広場・野球場
温水プールなど

指定管理者決定

松島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

質疑

今野章議員 ゼロ歳児から2歳児を対象に保育を提供する特定地域型保育事業者は、保育の提供終了後も満3歳以上の児童に対して必要な教育または保育が継続的に受けられるように、受け皿となる連携施設を確保することが原則であるが、町の調整等により卒園後も引き続き教育・保育の提供を受けることができる場合には連携施設の確保を不要とするとの説明だが、町の調整はどういった場合に行うのか。

町民福祉課長 未満児が3歳児に上がる時点で手続を行う。

賛成全員・可決

指定管理者の指定
(松島運動公園・管理事務所、多目的運動広場、野球場、テニスコート等施設)

質疑

杉原崇議員 野球場など施設の利用者を増やしていくために利用料金の減額の考えもあるが、今後の利用料金の考えは。

教育次長 町全体の公共施設の使用料に関して庁内で検討しており、他市町村の資料を取り寄せ、検討している。

杉原崇議員 大会が重なる際の駐車場が足りないが、どう考えているのか。

教育次長 全ての応援の方も含めた駐車場整備というのとは現実的ではない。

色川晴夫議員 収支予算計画内の人件費が5年間変わっていないが。

教育次長 指定管理者から5年ならした人件費で上げてきている。自助努力で収入がアップした分が勤務者の人件費にプラスされるといことも可能である。

色川晴夫議員 施設を使用した際に事故が起きた場合の責任は。

教育次長 既に様々な保険に入っており、事故が起きたときは、その保険で対応してもらおう。大きな事故になった場合は、設置者として町にも責任があるので、内容を協議して、保険の対象にできる場所は誠実に対応していく。

賛成全員・可決

質疑

指定管理者の指定
(温水プール施設)

菅野良雄議員 コロナ感染症がより拡大し、再度プールの閉鎖が起きた場合に、減収した分を町として管理者へ補填しなければならぬのではないのか。

教育次長 町の責任も出てくるので、管理者が実際にどのような状態なのか、何回も協議しながら把握して対応を判断する。

菅野良雄議員 再度プールを閉鎖した際に、休ませた従業員の給料をカットした時、町として責任を取らなくてもいいのか。

副町長 行政サイドから、もう1か月休んでくれと言ったときは、基本的に補填する考えを持ちながら、その都度、相手方と協議する必要があると考える。

今野章議員 この指定管理者は株式会社なので、利益を上げなければならぬのに、計画書の収支がゼロで良いのか。

教育次長 指定管理者から収支ゼロで出てきているが、実際の過去の数字は、黒字で出てきているので、コロナの影響を計算しても賄えるということと応募したと聞いている。

賛成全員・可決



運動公園 野球場

一般会計補正予算(第8号)

●障がい者自立支援給付費 2227万6千円
●宅配夕食サービス事業業務委託料 230万9千円

●ナラ枯れ対策事業業務委託料 90万2千円

質疑

ナラ枯れ対策について

澁谷秀夫議員 ナラの木はマツ同様大事な木である。被害はどの位か。また、原因と対策は。

産業観光課長 当初30本を見込んでたが、38本プラスになった。平成27年から徐々に増え令和元年まで合計203本処理している。原因は、カシノナガキクイムシという虫がナラ菌を木に持ち込むことによるもので、対策は伐倒し薬剤による薫蒸処理を行っている。

色川晴夫議員 松島のどの地区で被害が多いのか。また、当初予算は。

産業観光課長 手樽の富山観音付近が被害が多い。ナラ枯れ対策費として当初100万円を計上していた。

障害福祉費の扶助費について

色川晴夫議員 扶助費の2200万円増が生活保護受給者と言うが、何人増えたのか。また、理由は。

町民福祉課長 自立支援医療費の増で、生活保護受給者の受診件数が当初

5人と見ていたが3人増え8人となった。内容は人工透析である。

色川晴夫議員 宅配夕食サービスが増加している。当初の8400食より何食増えたのか。また要因は。

健康長寿課長 3300食の増加で年度末には1万1700食と見込んでいる。要因は、利用者の増で10人程増えて、コロナ禍の中で週2・3回利用の方が回数を増やしている状況である。

賛成全員・可決



ナラ枯れ被害(写真は松島字雁金森付近)

議案採決結果

※阿部幸夫議員は議長のため採決に加わりません。

令和2年第4回議会定例会

【賛成全員・可決】

櫻井靖議員および太齋雅一議員は欠席

議案番号	議決月日
議案第105号	12月7日
議案第106号	
議案第107号	
議案第108号	
議案第109号	

議案番号	議決月日
議案第110号	12月7日
議案第111号	
議案第112号	
議案第113号	
議案第114号	

議案番号	議決月日
議案第115号	12月7日
議案第116号	
議案第117号	
議案第118号	

令和2年第4回議会臨時会

【賛成全員・可決】

櫻井靖議員は欠席

議案番号	議決月日
議案第95号	11月13日
議案第96号	

令和2年第5回議会臨時会

【賛成全員・可決】

櫻井靖議員は欠席

議案番号	議決月日
議員提案第7号	11月30日
議案第97号	
議案第98号	

議案番号	議決月日
議案第99号	11月30日
議案第100号	
議案第101号	

議案番号	議決月日
議案第102号	11月30日
議案第103号	
議案第104号	

新型コロナ感染症対策

品井沼農村環境改善センターの トイレ改修など

令和2年 第4回

臨時会

11月13日(金)

物品売買契約の締結
〔町立学校大型提示装置
等購入〕

質疑

色川晴夫議員 一般競争入札の落札額とそれ以外の金額がかけ離れ、公正な競争になつたのか。また落札率が99・4%で公平・公正な入札になつているのか。結果を町はどう見ているか。

一般会計補正予算
(第6号)

質疑

今野章議員 品井沼農村環境改善センターのトイレの改修内容は、また多目的ホールに換気型空調設備は設置しないのか。

産業観光課長 改修は、

小便器を現状の5基から4基に減らし、空いたスペースに扉を設置する。空調は、留守家庭学級等で利用頻度の高い生活文化教室、事務室、農理

研修室の3部屋に設置し、多目的ホールへの設置は考えていない。



大型提示装置とは

大型のモニターで、生徒1人1台の端末整備と併せ臨時休業時等の遠隔学習の対応やICT環境をより効果的に行うため各町立学校に設置

臨時会



品井沼農村環境改善センター

今野章議員

新型コロナ

の交付金は、経済対策を目的とした交付金であり、今回の補正では議場のカメラ設置や施設等々の換気である。住民の生活や事業者の支援は十分という認識なのか。

町長

国の一次、二次補正に対し、各担当課の積み上げや議会からの提言について、優先順位を決めて推進してきた。これまで住民や事業者の支援を行ってきたが、町の施設でクラスター化しないよう感染症対応を行うべきと考え、今回の提案となった。

杉原崇議員

前回のクーポン券支給事業では利用率が39%と低かった。このことをどのように精査し、今回の「まっしま応援商品券」事業を計画したのか。

商品券が100%利用されるよう商工会や各テナントを通じて、また町の広報等で地域住民にお知らせしたい。

全員賛成・可決



まっしま応援商品券

質疑

今野章議員 職員組合との話し合いは行われたのか。また、改正案について合意は形成されたのか。

総務課長

11月中旬、職員組合に人事院勧告および今回提案している内容を説明した。現下の社会経済情勢を考え、やむを得ないものとして理解を得た。

全員賛成・可決

令和2年 第5回
臨時会
11月30日(月)

一部事務組合議会報告

塩釜地区消防事務組合議会

令和2年10月15日(木)
令和2年第3回定例会が
開催された。

行政報告

- ①新型コロナウイルス感
染症関連救急出動
(3月4日から9月末まで)

②火災件数

管内 28件
(前年比1件減)
松島町 4件
(前年比2件増)

③救急出場件数

管内 6103件
(前年比841件減)

④要介護認定審査判定数

管内 3015件
(審査会開催数 102
回)

⑤障害支援区分判定件数

管内 152件
(審査会開催数 12回)
②から⑤までは令和2年
4月から9月末までの期
間

議案の審査状況

塩釜地区消防事務組合
の認定第1号から第4号
までの一般会計決算認
定、介護認定審査事業特
別会計決算認定、障害支
援区分審査事業特別会計
決算認定、環境事業特別
会計決算認定について
は、すべて賛成全員によ
り可決された。

監査委員の選任

七ヶ浜町代表監査委員
の稲妻敏行氏を消防事務
組合の監査委員に選任す
ることについて同意を求
められたもの。

賛成全員

片山 正弘 議員

後藤 良郎 議員

宮城東部衛生処理組合議会

令和2年10月5日(月)
令和2年第3回定例会が
開催された。

行政報告

- ①ごみの搬入状況
(令和2年4月から8月
まで)

②焼却灰等放射性物質濃 度の測定結果

2万1407トン
(前年比176トン増)
松島町分 2619トン
(前年比354トン減)

③排ガス中の放射性物質 濃度の測定結果

④埋立地浸出水処理水、
地下水の放射性物質濃度
の測定結果

⑤各施設敷地空間放射線 量

②から⑤までの測定結果
は、いずれも目安や基準
の範囲内にある。

議案の審査状況

宮城東部衛生処理組合
の組合会計決算認定およ
び組合会計補正予算第1
号は、賛成全員により可
決された。

今野 章 議員

櫻井 靖 議員

皆さんのからの 請願・陳情

みなさまからお寄せい
ただきました請願・陳情
は、総務経済常任委員会
に付託されました。

○請願第1号

**中小企業・小規模企業
振興基本条例の制定を
求める請願**

《趣旨》

中小企業・小規模企業
を取り巻く環境は、非常
に厳しい経済社会情勢に
対し関係団体が一体で6
次産業化の推進と小規模
企業等の持続的発展を図
るため地域活性化の促進
に必要な施策を推進して
いくための条例の制定を
求める。



○陳情第3号

**女川原発再稼働を認め
る宮城県決議への反対
表明を求める陳情書**

《趣旨》

国の安全基準を満たし
ても完全な安全が保障さ
れるものではない上、核
廃棄物は環境汚染と処分
の問題がある。安全・安
心な未来を残すため自然
エネルギーによる電力供
給を望み、女川原発再稼
働を認めた宮城県決議に
反対の意思表明を求め
る。

東日本大震災復興対策特別委員会



松島町地域防災計画

住民への周知は分かりやすく 避難施設・避難場所活用の具現化

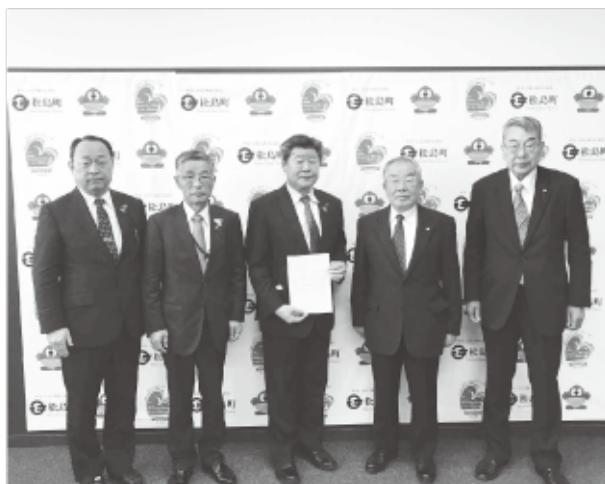
提言書提出



色川晴夫特別委員会委員長

本特別委員会は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災を受け、同年4月26日に設置された。

調査事項として「震災に係る被災状況の調査および復興対策」について、松島町地域防災計画



町に対して提言書を提出

や東日本大震災復興交付金事業に議会の意見を反映すべく協議されてきた。

平成27年3月に松島町地域防災計画が改訂されたが、近年の台風、大雨などの災害、特に令和元年10月の台風第19号による被害、令和2年の新型コロナウイルス感染症などで、松島町地域防災計画が遅れたことについてはやむを得ない事情もある。今回改訂された松島町地域防災計画は、防災

会議の承認を得て発行するが、議会は12月8日に本特別委員会を開催し、意見の集約に努めた。

①松島町地域防災計画について

●主な意見

- ・外国人対応やハザードマップについて検討を
- ・大雨、台風などの災害に備え、事前の対策を
- ・災害時の対応で、個別計画と対策が必要
- ・防災計画の内容を解りやすく町民に広報すべき

②東日本大震災復興交付金事業の進捗状況について

●主な意見

- ・石田沢防災センターの今後の活用は
- ・根廻・磯崎線沿いの交差点に信号機の設置を
- ・災害公営住宅への入居と家賃低廉化は

その他、多数の意見が交わされた。これを踏まえ本特別委員会は、12月25日、町に提言書を提出した。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会報告

今なお、新型コロナウイルス感染症の猛威により世界は混迷を深めている。松島町議会は5月25日に新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を設置し、これまで各業界

の方々と協議、調査を行った。これを踏まえ6項目の提言書を町に提出した（議会だより第143号に掲載）。これを受け町は9月定例会で一部を除く6項目の事業が具現化された（議会だより第144号に掲載）。また、10月9日に本特別委員会が開催され、「町内における新型コロナウイルス感染者発生時の対応」について協議された。

この時点での新型コロナウイルス感染者はなく、発生した場合、町の対応について担当者から聞き取り調査を行った。

①新型コロナウイルス感染症の県内発生状況

②新型コロナウイルス感染症が町内で発生した場合の対応・・保健所からの情報提供

③新型コロナウイルス感染症が町内で発生した場合の対応・・保健所以外からの情報提供

④新型コロナウイルス感染症・・学校の臨時休業対応

⑤新型コロナウイルス感染症・・職員休業判断

資料として
新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営マニュアル

●主な意見

- ・感染時などの緊急情報は発信と事後の伝達方法は
- ・県からの情報はいつか
- ・感染者の誹謗中傷対策は
- ・学校の臨時休校となる判断基準は
- ・学校に復帰後のイジメが心配であるが、対策は
- ・職員が感染した場合は公表するののか
- ・避難所に配備されている資機材は充分か
- ・ホテル旅館関係との協定について
- ・自主避難者の安否確認は

町政Q&A

一般質問 ここが聞きたい！ 6人の議員が 10件について質問

杉原 崇 議員 (10ページ) ◆ 新型コロナウイルス感染症の感染者支援について

菅野良雄 議員 (11ページ) ◆ 女川原発の再稼働に備えて
◆ デマンドバスの運行実証実験結果について

高橋幸彦 議員 (12ページ) ◆ 学校給食の現状と課題は

後藤良郎 議員 (13ページ) ◆ デジタル化でオンライン申請の推進を
◆ 町道の環境整備について

今野 章 議員 (14ページ) ◆ 合併処理浄化槽設置へさらなる支援を
◆ 新型コロナ禍の米価下落対策を

赤間幸夫 議員 (15ページ) ◆ コロナ禍（下）における高齢者対策を問う
◆ 松島町、農業の未来は

※一般質問とは

議員が町長などの執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求めること



新型コロナウイルス感染症の感染者支援について



「シトラスリボンプロジェクト」を町内に広げていきたい



すぎはら たかし
杉原 崇 議員

情報発信

問 多くの方が情報伝達の手段として対話アプリ「LINE(ライン)」を使用している。自治体向けの無償プランもあり、迅速に情報発信でき、見落とし防止の効果が期待できるラインを町民への情報発信のツールとして導入すべきでは。

危機管理監 新型コロナウイルスに特化するものではなく、町全体の情報発信のツールとして検討する。

問 様々な憶測や誹謗中傷が多い「ユーチューブ」を活用して、町長メッセージを動画発信してはどうか。

危機管理監 ユーチューブはより動きのある情報内容を効果的に発信できるということから、今後発信する内容等については検討を進めて有効に活用していきたい。

店舗支援

問 感染が広がらないようにと、クラスター発生を公表した店舗は経営的な打撃がかなり大きい。公表した店舗への支援の考えはあるか。

町長 町内事業所においてクラスターが発生した場合、経済的なダメージは大変大きいものと危機意識を持っているが、今後の検討課題と考えている。

学校教育

問 感染してしまった子供を守るため、いじめや偏見に繋がらないような学校教育をどう行っているのか。

教育長 いわれなき差別や偏見がないよう、家庭でも正しい理解を深めていただくために、学校便りやホームページで随時発信している。もし感染が発生しても、万全の体制で先生方と逐一話し合いをしながら対応していきたい。

シトラスリボン

問 教育委員会で推進している「シトラスリボンプロジェクト」とは。

教育長 シトラスとは柑橘系という意味で、このようなりボンでもって、コロナに感染した人に対して差別や偏見をなくそうというすばらしい運動である。

問 「シトラスリボンプロジェクト」を町全体で取り組んではどうか。



シトラスリボン

条例制定

町長 町内に少しずつ広がっていくように今後活動していきたい。教育委員会、健康長寿課とということではなく、町として総体的に盛り上がっていく必要があると思う。

問 栗原市では「新型コロナウイルス感染症の患者等の権利の擁護に関する条例」を制定した。町においても感染者への支援として条例制定すべきと考えるがどうか。

町長 新型コロナウイルス感染症の陽性者等が誹謗中傷や差別的な取扱いを受ける被害が全国的に発生していることは報道されており、非常に深刻な事態と認識している。人権の擁護に関する条例制定の予定はないが、今後も正しい知識の普及啓発や、相談窓口の周知を行い、患者発生の際には町長メッセージを発信していく。



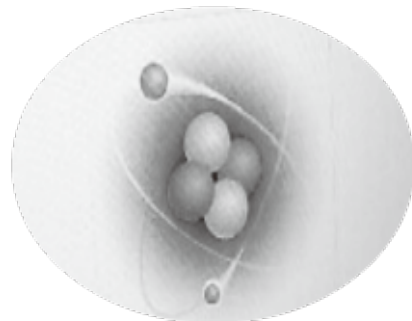
菅野良雄 議員

問 女川原発の再稼働に備えて

答 拙速な再稼働とならないように やっていく

問 女川原発2号機の再稼働について、村井知事は地元同意を表明し、梶山経済産業相に伝達した。再稼働は、2022年以降と予測されるが、福島原発事故では50km以上離れた飯館村まで汚染された状況から無関心ではられない。市町村長会議での町長の意見はどうだったのか。

町長 市町村長会議で知事から、賛否を問われたわけではない。



問 福島の原発事故では近隣市町の住民はすべてを奪われた。再稼働するのであれば、核エネルギー利用の技術が完全なものになり安全性を確保できる環境を整えてから再稼働するよう願う。町長には、国県に対し、しっかりと伝えるようお願いしたい。

町長 震災から10年というところで、稼働可になったと思うが、まだ再稼働されていない。要因を掴んではいないが、拙速な再稼働とならないように、議会に情報提供しながらやっていく。

問 デマンドバスの実証実験 結果について

答 利便性が高くなるように 努力していく

問 デマンドバス第2次実証実験運行の結果、デマンドバス方式の採用は適さないとの報告である。登録制の廃止とか、真夏や真冬の運行実験とかいろいろ方法を変える必要があってもよかったのではないか。

総務課長 区域や運行ルートについては変更はしていない。時間帯は、いろいろな意見があったので支障のない範囲で調整している。予約も、運転手に直接予約できるよう対応したが、実績は1件の申込みであった。さらに、利用者を対象に説明するなど改善した上で2回目の実証実験運行を行っている。

問 6割の利用者に不満はなかった。本町はなぜ利用者が減ったのか。他の自治体の成功例を含め、詳細な検証をしてもよかったですのではないか。

町長 公共交通事業に精通している宮城大学の徳永先生からも、アドバイスをいただいで2回目に着手している。

問 停留所から離れた所に住む歩行困難な人もいる。有料の場合、500円でもいいと答えた人もいる。そのような方々に利用しやすいデマンドバスを提供することも必要ではないか。

町長 高齢者の方々の足に関しては、少しでも利便性が高くなるように努力していきたい。ただし、当面の間は町営バスの在り方を検証しながらやっていきたい。



デマンドバス

問 学校給食の現状と課題は

答 保護者の給食費に対する意識を変えるよう、今後文書等で知らせ、徴収率をアップさせたい



たか はし ゆき ひこ
高橋 幸彦 議員

問 11月5日の河北新報の記事で、宮城県では27・3%の教育委員会が、給食費の公会計化を導入しているといったが、わが町はどうか。

教育課長 給食費負担金の収入、賄い材料の支出等を町の予算に組み込み、公会計方式で行っている。また、徴収と収納管理等を教育委員会で行っている。

問 その記事の中に、公会計化でコンビニやインターネットで納付できるなど、保護者の利便性も向上するとあったが、わが町の徴収方法はどうか。

教育課長 口座振替が基本である。分割納付など特別な事情がある世帯には納付書で納付してもら

っている。コンビニやインターネットでの納付は行っていないが、導入自治体の事例を見ながら検討していく。

問 二市三町で広域事務組合を運営しているが、給食費の徴収等で担当者が協議したことはあるのか。

教育課長 協議はしていない。市町によって徴収方法等の違いがある。

問 塩竈市では、給食費の未収金がほとんどないと聞いている。わが町は児童生徒数が少ない割に未納が多い。徴収率を上げる方策は。

教育課長 納付する能力があるのに納めない方には、厳しい対応をしている。

町長 保護者の経済的状況を見極めて、徴収の対応をするように指示している。

問 令和元年度の決算で、学校給食費の受入が約4500万円であるが、賄い材料費だけで約5000万円であった。このような数字を保護者に示して理解を得、徴収率を上げる努力が必要ではないか。

教育課長 保護者の給食費に対する意識を変えるよう、今後文書等で知らせ、徴収率アップに努めたい。



生産者との給食



地元食材のサンプル



ごとう よしろう
後藤 良郎 議員

問 デジタル化でオンライン申請の推進を

答 国の動きに合わせて対応していく

問 国のデジタル庁を創設して本格的にDX（デジタルトランスフォーメーション、データとデジタルを融合させたもの）へ転換する動きに対して町長の考えを伺う。

町長 各自治体で調達される基幹系システムの仕様の標準化などが報道されている。本町としても国の動向を注視しながら職員を講習会や研修会に派遣して対応していきたい。

企画調整課長 平成29年度から一部サービスを活用している。児童手当関連の届出など、国が指定する手続きの申請書のダウンロードが可能であるが各自治体の既存の基幹系システムとの連携がなされていないためにシステムの改修が必要になる。国の動きに合わせて対応を検討していく。

問 マイナンバーカードを活用した「マイナンバー・ぴったりサービス」の活用状況を伺う。



ぴったりサービス（内閣府のHPより）

問 新潟県三条市では、平成30年4月から「ぴったりサービス」の利用拡大に取組み、国が指定する15種類に加えて市独自で23項目の分野を追加した。このように町民のため取組むべきであると考えるが町長の所見を伺う。

町長 本町のマイナンバーカードの登録申請が30%前後で推移している。マイナンバーカードの普及を加速させながらサービスを拡大できるように今後調整をしていきたい。

問 町道の環境整備について

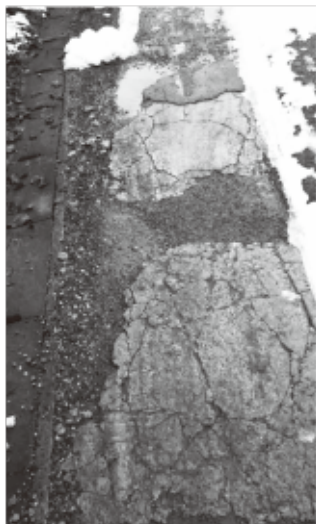
答 町全体の計画の中で舗装補修を行っていく

問 手樽区の元手樽および弁天地区の町道は、舗装の劣化が著しく、区で長年の課題となっており、これまでも町に要望しているが、これをどう認識されているのか伺う。

建設課長 同町道は、舗装を行ってから年数が経過し、舗装面のひび割れ・わだちなどが目立ってきた。部分的に補修を行っているが補修が必要な路線と認識している。今後、町道の長寿命化修繕計画に組み入れ全体の計画の中で行っていきたい。

問 町民の公平なサービスの観点からも舗装改良を急ぐべきと考えるが町長の所見を伺う。

町長 道路の状況は認識している。手樽区としての優先順位を決めて、今後検討しながら進めていきたい。



手樽区元手樽地区の町道

問 合併処理浄化槽設置へさらなる支援を

答 新たな財政支援は難しい



今野 章 議員
あきら 今野

問 町の水洗化率は88%で1800人余りがし尿汲み取りや単独処理浄化槽による処理である。単独処理浄化槽は、耐用年数を超えたものが多く、合併処理浄化槽への切り替えが求められるが、現状はどうか。

水道事業所長 下水道区域内、外の未接続はそれぞれ347戸と352戸である。単独処理浄化槽は町内に115基ほどある。

総務課長 集会施設27ヶ所中、17ヶ所が汲み取りである。

建設課長 町営住宅は、愛宕、上初原、幡谷住宅の75戸が汲み取りである。

問 公共施設に対する今後の対応は。

総務課長 集会施設は、現在、公共施設総合管理計画の個別計画に向け地区と意見交換しており、計画内容と整合する形で考えたい。

建設課長 町営住宅の愛宕、上初原、幡谷の住宅は廃止をする計画であり、今後の対応は考えていない。

問 高齢化の進展、年金暮らしで、住宅リフォームなどが届かない状況もある。リフォーム助成制度などの補助事業と併せ、積極的な支援を行う考えはないか。

水道事業所長 合併処理浄化槽補助金の県費廃止の際も町で上乘せし、補助金額を堅持してきた。下水道区域内での補助金制度も創設し、無利子の融資制度もあり、新たな財政支援は難しい。

問 新型コロナウイルス禍の米価下落対策を

答 備蓄米買い入れなど国に求める

問 新型コロナウイルス禍で米需要が減少、米価が低下している。低米価が続けば法人経営でも米作りが厳しく、田畑の荒廃、生産基盤の崩壊に通じる。環境保全、食料安保の問題でもあり、町の基幹産業の農業に対して支援が必要ではないか。

問 過剰在庫を解消するため、備蓄米として買い入れること。また21年産米の生産調整30万トンの2・5倍にあたるミニマム・アクセス米の輸入中止、縮小を国に求めることなど、価格安定を図るべきではないか。

町長 備蓄米買い入れは国に求める。輸入米は米農家、国産米価格に少なからず影響を及ぼしている。国もミニマム・アクセス米を入れて飼料米などの施策をしているが、自給率の向上につながるおらず、安定した所得を農家が得られるよう県を通じて国に求めたい。

町長 本年度産米は台風被害の影響もなく、概算金は、ひとめぼれで前年比マイナス700円となった。コロナ禍の影響で米価は下落するおそれもあり、動向を注視したい。



刈り入れの季節



あか ま ゆき お
赤間 幸夫 議員

問 コロナ禍（下）における高齢者対策を問う

答 様々な相談に応じ、予防策を講じていく

感染予防の対応

問 コロナ禍の進行による感染拡大傾向に対して、町長の危機管理認識の程度は。

町長 今年の春以降、常に危機感を持って町の果たす役割を模索し対応している。今後も町民一人一人が感染予防の意識を高め、迅速な対応を行う。

問 町民や各種団体から様々な声に、どう対処していく考えか。

町長 コロナ禍で災害が起きたときの避難運営の方法等について、区会側と話し合いを行っている。今後も絶えず町から指示・発信していく。

問 町は高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画を策定中であるが、コロナ禍の進行に際してどのような予防策や啓発に努めるのか。

健康長寿課長 感染症の予防に健康教育を行うほか、様々な相談に応じている。また、*フレイル予防の活動では、ラジオ体操の動画やオリジナル体操の動画などを作り配布しており、今後も啓発に努める。

*フレイルとは

健康と要介護の間の状態を指す。放置すると寝たきりや認知症になるなど重篤な症状を招く恐れがあるので、早めの対応が求められる。

問 松島町、農業の未来は

答 農業委員会や農協と協力しながら

農業問題から

問 農業委員会による「地域農業の将来に関する調査」が行われたが、その概要と結果、分析はどのようなものか。

町長 調査表回収率は約70%であり、今後の作業として担い手や後継者のいない農地の見える化を図面にまとめていく。担い手不足または耕作放棄地の増加を心配する回答が多い結果となっている。

問 町長の現状認識と、今後の施策展開の考えは。

町長 結果を基に、農地と農家が効率的にマッチングできるように、農業委員会やJAと協力しながら農地集積を行っていき

問 行政展開上から、農業政策へのウエイトの掛け方が軽いように感じられるがどうか。

町長 農業が抱える問題として、米価や野菜の値段など色々加味されているが、町はどれだけ関われるのか。小さな町云々だけではなく、日本農業の問題と考える。



未来を担う子どもたちの収穫体験

町民の声



おお とも としみつ
大友 敏光さん
(磯崎)

地元企業は 松島町を応援します

私は、松島町に生まれ松島町で育ち、さまざまな人々に出会い、いろいろな職を学び、平成23年2月に電気工事業を開業しました。

その後、いろいろな困難はありましたが、今年、無事に10年経ちました。

私は、開業して松島町民の方々から、応援され背中を押され、仕事を続けて来ることができました。今は、大手企業、一般、官公庁の仕事をしております、特に松島町役場にもお世話になっております。

私の理想は、松島町で発注した仕事は町内企業で行っていい。それは役場と町内企業が助け合って、松島町を住みよい環境に作っていくと共に、税金のループという考えを共有できればと思っていますからです。

地元企業は松島町を応援します。これからも議員の皆様には、より一層力強い議会運営を期待しております。

議会活動

◆主な活動内容

- 11月10日 宮城県町村議会議長会常任委員会委員長研修会
 - 11月12日 松島どんぐり太陽光発電所建設工事竣工式
 - 11月16日 宮城県知事と宮城県町村議会議長会懇談会
 - 11月17日 宮城黒川地方町村議会表彰式並びに議員研修会
 - 11月25日 第64回町村議会議長全国大会
- その他、各常任委員会、議会運営委員会が開催



議員研修会



太陽光発電所視察

太齋雅一議員が 地方自治功労表彰

表彰



太齋 雅一 議員

町議会議員として、多年にわたり職務に精励し町の発展と住民福祉の向上に尽力された功績により、文化の日表彰において、宮城県知事より表彰状が授与されました。

次回の定例会は 3月3日(水) 開会予定です。

編集後記

昨年は、新型コロナウイルス感染症の脅威が世界を覆い、命を奪い、暮らしも経済も大変な年に。欧米でワクチン接種が始まり、光明が見えた気もしますが、変異種の発見、首都圏での緊急事態宣言と予断を許しません。三密と飲食行動には充分注意し、コロナのたたかいに気を引き締めていきたいと思います。

核兵器もまた人類の大きな脅威ですが、核兵器禁止条約が発効に必要な批准国数50ヶ国を超えて、1月22日に発効します。地球規模での開発の進展、温暖化による気候変動なども大きな脅威です。地球上に住む私たちは今、大きな岐路に立たされているのかもしれない。

(今野 章)

広報広聴常任委員会 広報分科会

- 会長 櫻井 靖
- 委員 杉原 崇
- 委員 緑山 市朗
- 委員 澁谷 秀夫
- 委員 今野 章
- 委員 菅野 良雄
- 委員 色川 晴夫